

資料を準備するとともに写真・図版・統計等の活用について配慮する。

三 学習指導法の研究と授業の充実に努める

- (一) 生徒の能力・適性・進路等がますます多様化しているので、指導の個別化、学習の個性化の観点から、生徒を積極的に学習に参加させる指導方法を工夫し、その実践に努める。
- その際、資料や教育機器などの活用場面を工夫し、生徒の理解や思考が一層深まるような指導法の改善に努める。

また、評価の在り方は特に情意面の評価について研究を深める。

四 学習指導要領の趣旨に即して「現代社会」の指導に一層努める

- (一) 生徒の実態に即し、身近で具体的な事象を教材化して思考力や判断力を養う。
- (二) 生徒の問題意識を喚起し、学習内容を生徒の課題意識まで高める。
- (三) 選択科目との有機的関連を一層図るよう研究を深める。

数学

指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的な知識や技能の習得を図るとともに、基

本的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な考え方や処理の仕方をも身に付けて、学力向上を図るため、次の事項に努力する必要がある。

一 生徒の実態に応じた学習内容を重点化し、教材の精選を図る

- (一) 生徒の実態に応じた適切な科目を履修させる。また、適切な教科書を採択する。
- (二) 生徒の実態に応じて、学習内容を重点化し、教材を精選してゆとりのある充実した学習をさせるようにする。この際、各科目の内容相互の関連を図るとともに、学習内容の系統性に留意して教材を効果的に構成する。

二 学習指導法や評価の在り方を改善し学習意欲を高めて基礎学力の定着を図る

- (一) 学習目標を明確にし、その目標達成の度合いが十分に把握できるよう、個人内評価や情意面の評価を取り入れる。これにより、課題意識を明確にさせ、意欲を喚起するとともに、基礎学力の定着を図る。
- (二) 指導の個別化を図り、生徒一人一人の補充・深化・発展の学習を促し、自主的に学習する態度を育成し、合わせて個性の伸長を図る。
- (三) 教育機器や計算機等を利用したり

学習に作業を取り入れたりして数学に対する興味・関心を高め、指導の効果をおよぼす。

三 数学的な考え方や、処理の仕方をも身に付けさせる

- (一) 基礎的な知識や技能の修得を図るとともに、基本的な概念や原理、法則の理解を深めて、これらが問題解決に生かされるようにする。
- (二) 帰納・類推・演えきなどの論理思考や、より高い立場から見直し、いくつかの領域の事項を関連づけ、体系化してゆく数学的な手法を理解させる。

(三) 具体的な事象は、理想化、抽象化、条件づけ等がなされて数学の舞台上にのせられ、数学的な手法によって処理され、その解が求められて解釈される。このことを身のまわりの多くの具体例を通して理解させる。

四 指導の内容・方法について中学校数学との関連を密接にする

- (一) 中学校数学の内容の補充・定着を図る指導は、ある時期に集中的に行うか、高校の学習事項に関連して必要に応じて行うか、生徒の実態や教材内容に即して適切な方法を考える。

理科

学習指導要領の趣旨を踏まえ、高等学校理科の目標を達成するため、次の事項について努力することが望まれる。

一 各科目の目標を正しく捉え、生徒の実態に即した教材の精選と構造化を図り、より具体的な指導計画の作成に努める

(一) 指導計画の作成に当たっては、観察・実験などを重視し、次の三点に努める。

- ① 自然を探究する能力・態度を育成する。
 - ② 自然の事物・現象についての基本的な科学概念の理解をする。
 - ③ 科学的な自然観を育てる。
- (二) 各科目の学習内容の精選と構造化に当たっては、生徒の学習到達状況を的確に把握し、さらに、中学理科理科I、選択理科との関連を十分に配慮して行うように努める。
- (三) 科目の履修に当たっては、幅広い選択が可能のように、多様な教育課程の類型を設けるとともに、生徒の実態を踏まえた教科書の選択をするよう努める。

二 生徒の能力・適性等の多様化に対応するため、学習指導法の改善に努